

た よ り



〒518-0814 伊賀市上友生785番地

TEL&FAX;0595(21)8839

URL:<http://www.iga.ed.jp/igaken>

E-mail:iga-ken@iga.ed.jp

6月下旬から大変暑い日が続いています。新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組並びに熱中症対策に日々適切な指導・対応をしていただいていることだと思います。

6月24日(金)、令和2年度より3年間にわたり研究を進めてこられた成和西小学校の研究発表会が開催されました。「プログラミング教育特別講座」から始まり、「公開授業(低中高別)」「分科会(低中高別)」「全体会：研究概要報告・講演等」と、とても充実したものとなりました。



研究の概要や授業の様子、講演から学んだことを紹介します。

研究発表会で大きな学び♪～成和西小～

1 研究の概要

◇研究主題 協同的な活動を通して、安心して学ぶことができる学校づくり
～ICT 機器の効果的な活用による深い学びの創造をめざして～

◇研修を推進していくための仮説と取り組み

- 1 子どもたちの学びを保障することで、豊かな人間関係を築くことができ、子どもたちが自分の夢に向かって歩み続けることができるのではないかな。
⇒3つの柱:「学びのスタンダード」「教材研究」「研究授業」
- 2 授業の場面に合った ICT 機器の取り入れ方を模索し、積極的に授業に取り入れることで、より豊かな学びを創造できるのではないかな。
⇒「一人1台パソコンの効果的な活用」「教員のやりたい授業 With ICT」
- 3 研修の組織の在り方を見直すことで、子どもたちの課題に即した、豊かな教育活動を創造できるのではないかな。
⇒子どもたちの課題に即した「プロジェクト」を立ち上げ、プロジェクトごとに課題へのアプローチの仕方を考え、取り組みを進める

◇学びのスタンダード

<目指す子どもたちの姿>

- ・「わからない」ことが「わからない」と言える。
- ・「わからない」ことが「わかる」ようになる。

- ・「想い」を表現できるようになる。
- ・タブレットを活用して意欲的に学びに取り組む。

<①課題を知る ②個人活動 ③ペア活動 ④問題を知る ⑤ペア活動 ⑥全体交流
⑦ふり返り>

◇プロジェクト

○ICT プロジェクト

目指す子どもの姿

ICT 機器の効果的な活用を通し、自分の考えを分かりやすく表現し、自信を持って学習に向かう子ども

⇒ICT 機器活用能力段階表、授業実践の交流、教師のスキルを高める、児童のスキルを高める、アンケートの実施

○人権プロジェクト～性の教育を通して～

⇒授業実践、研究授業、授業参観、講師招聘、教職員研修

○校内環境プロジェクト

⇒各学年の取り組み、おすすめの本コーナー(掲示板・図書室)、クイズコーナー、校内常時展示、教室環境、保健関係絵本コーナー

◇講演 「成和西小学校の実践から創造する伊賀市がめざす GIGA スクール構想」
東京学芸大学 ICT センター教授 森本 康彦 さん

2 授業の様子

オープニングに、プログラミング教育特別講座「スクラッチのプログラムで温泉卵をつくろう！（5年生）」が体育館で実施されました。本特別講座は、スクラッチでプログラミングをして、お湯の温度を調節し温泉卵づくりに挑戦する内容でした。4つの班がそれぞれ考えたプログラムをまとめ、実験して確かめていく中で、たくさんの気づきや検証の場がありました。子どもたちは生き生きと学習していました。



公開授業では6年生の授業【総合的な学習の時間】を参観しましたが、本時は、「上野南中学校の制服のデザインが3種類ある理由について、資料を参考にして自分の考えを交流し合う」授業でした。本授業における意義について私なりに以下の3点に整理しました。

1点目は、「45分間の授業の中でタブレットPCを効果的に活用する場面が複数設定されていること」です。本時では、題材となる上野南中学校の3つの制服の画像をロイロノートで配付し、考えの手助けとしていました。また、本時のめあてである「上野南中学校の制服のデザインはなぜ変わったのだろうか。」をグループ（3人）で考える際にPDF化した資料（上野南中学校でとった生徒アンケート）を配付し、それをもとに話し合いながら共有ノートで1つのテキストにまとめていきました。いずれの場面もタブレットPCを効果的に活用し、子どもたちが主体的に学ぶツールとなっていました。

2点目は、「性に関する教育を人権教育として位置付け、1年生から積み上げ6年生での学習につなげていること」です。本時では、制服のデザインが変わったことを考えてい

く中で、Ⅰ型・Ⅱ型・Ⅲ型という名前がついていて男性用・女性用として分かれていないことや、スカート/ズボン、リボン/ネクタイを選択できることに気づくとともに、ジェンダーやLGBTについて意見が出されました。LGBTについて話が出た時に、「それって知らないのですが、何ですか？」と即時に疑問を出せ、みんなで共有していきました。わからないことをさっと聞け、学び合うことができる姿に感心しました。これらは、低学年からの積み上げがあってこそその学びだと思えます。

3点目は、「身近な題材を取り上げるとともに、子どもたちがこれから進学していく上野南中学校の制服を取り上げていること」です。どこか遠いところの話ではなく、自分たちが関わっていく題材であること、その題材には性に関する教育を進めていくうえでの大きな値打ちがあり、意図的なしかけをつくることができることです。子どもたちは見事に自分事として引き寄せ、制服の選択制が自分らしさを表現できることにつながることを考え合っていました。題材の提示の仕方（実物⇒PCで配付）も工夫されていました。

3 講演から

森本さんからお話を聴き、心に残ったキーワードを紹介します。

- 「学ぶ」とは自ら考え「気づく」こと
知識を礎とし、情報から何が重要かを主体的に判断し、自ら問いを立て、協働しながら、新たな価値を生み出していくこと
- 授業のポイントは、いかに子どもたちに「気づき」を与えるか
- 「定着する」とは、自分の言葉できちんと「説明できる」ようになること
説明できるとは表現できること・・・文字で書く、口で言う、図で描く、動作
- 学びを実現させるために
学び方 主体的・対話的で深い学び（教師からの視点）
個別最適な学び（子どもからの視点）
- ICTは道具、単なる機械
当たり前の道具として使う
活用で学びがどんどん大きくなっていく
だから、1人1台でないといけない
- 普段の授業+ α α がICT活用
さらに気づきを与え、学びを深めてください
対話を増やしてください
子どもたちを主体的にしてください・・・それが授業改善
- ICT 学びが起こる4つのタイミング
みる/きく とき 考える/かく とき
やってみる とき 話す とき
気づきを深める4シーンの組み合わせを
- 伊賀モデル with ICT
「気づく」こと
より気づく より主体的 学びが広がり深まる



お話を聞いていて、あくまでも基盤は「学習指導要領」であり、「主体的で対話的で深い学び」をどう保障していくかが重要だと感じました。学習指導要領が求める普通の授業づくりがベースになります。そして授業で大事にしたいことが「気づき＝自ら考え気づくこと」です。これは森本さんのお話の中で繰り返し出てきた言葉です。

森本さんは、「ICTは道具、単なる機械」と話されました。さらには、「普通の授業＋ α その α がICT活用」とも述べられました。授業で当たり前の道具として使い、学びが起こる4つのタイミングで効果的に活用していくことが重要だと感じました。それが、さらに「気づき」を与えることにつながり、子どもたちが主体的に学び、対話が増え、学びを深めていくことにつながるということを学びました。

成和西小学校の取組が市内の小中学校に広がりつながることで「伊賀市がめざすGIGA構想」が確立していくという期待を込めた内容だったと感じています。その効果的な活用的一端を示していただいたのが、プログラミング教育特別講座であり、3つの公開授業であったと思います。

藤山校長先生が研究発表会の挨拶でもふれられましたが、伊賀市におけるこの時期の研究発表会はこれまでに例がなく、初めてのことでした。6月下旬であるにもかかわらず、伊賀市は35.5℃を記録する真夏日となる中でしたが、たくさんの方の参加を得て盛大に開催されましたことに感謝を申し上げます。

担任や情報教育担当の方をはじめ、授業を行う方がたくさん参加されていたことはとてもありがたいことでした。ぜひ、この「6月」に学ばれたことを各学校・園で共有いただきたいと思います。参加された方には7月の授業実践にいかすとともに、夏季休業中にはじっくりと校(園)内で還流いただき、2学期以降の日々の授業にいかされることを願っています。6月開催の研究発表会の意義はこのような点にもあると思っています。



成和西小学校の教職員のみなさん、お疲れさまでした。研究発表会がゴールではなく、一過程であり、今後さらなる研鑽を積まれることを願っています。ありがとうございました。

雑感：研修講座・研修会や会議、共同実施業務が重なり、当センターへ来られる方が大変多い日があります。そのような時は、運動場へ駐車いただいています。天気の良い日はいいのですが、雨天の場合や、雨が上がった後などは、轍ができてしまいます。来られた教職員の皆さんは、校舎側や東土手側に整然と駐車され、大変助かっています。一つお願いがあります。運動場への出入りの際に徐行し、特に曲がる際にはゆっくりと運転されますようお願いいたします。安全面と轍を浅くという理由からです。できた轍を均す必要がありますが、友生少年野球クラブの方が練習後にいつもレーキをかけてくださり、翌日にはとてもきれいな運動場になっています。運動場の真ん中から円を描くようにかけてくれることがほとんどで、運動場に一つの芸術作品が出来上がっているかのようです。また、先日は練習の合間に、運動場周りの草刈りや、東側土手(石段のあるところ)の草刈りもしていただき、とてもきれいになりました。運動場に駐車された時には、ご覧ください。このようにご協力をいただき、当センターの環境が整備されていることをお伝えしたいと思います。

◆話は変わりますが、校舎前の畑では、ふれあい教室が野菜を育てています。先日、通級生が入れ物を一杯にし、抱えながら野菜を持っていました。尋ねてみると、あふれんばかりのきゅうりでした。中には、30cmほどもあるきゅうりも数本あり、よく育ったものだと感じました。他の野菜を含め、今後どれだけ収穫できるだろうか！と楽しみです。プール横の畑にも野菜を育てています。世話をしている通級生の表情がとてもいいですよ♪